

## 国内インテリア業界初 通常 SBT 認定を取得 脱炭素社会の実現に向けて

株式会社川島織物セルコン（本社：京都市左京区 社長：光岡 朗）は、2030 年度に向けた温室効果ガス排出削減の目標について、国際的なイニシアチブ「SBTi（The Science Based Targets initiative）」から SBT 認定を取得しました。

SBT（※）とは、パリ協定が求める温室効果ガス削減の水準と整合した、企業が設定する削減目標のことで、科学的根拠に基づいて企業の温室効果ガス削減を可視化するものです。当社は、Scope 1と2で2019年度比47%の削減、Scope 3カテゴリ1で27.8%の削減とする目標が承認され、今般、認定企業となりました。



※SBT パリ協定が求める温室効果ガス削減の水準と整合した、企業が設定する削減目標。

「気温上昇を産業革命以前に比べて 2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」というパリ協定の考え方をもとに、科学的根拠に基づいて企業の温室効果ガス削減を可視化するもの。認定企業数は世界で 2,886 社、日本では 601 社となっている（2023 年 9 月 30 日時点）。

SBT は、大企業向けの通常 SBT と中小企業向け SBT の 2 種類があり、中小企業向け SBT は削減対象範囲が Scope1、2 に絞られている、認定費用が安価、認証までのプロセスが簡略化されているなど、企業負担が軽く設定され中小企業にも取り組みやすい内容になっている。

### 1. 目標設定の背景・経緯について

世界各地で発生する自然災害に象徴される地球温暖化、不足する食料や水、資源・エネルギーの確保など、持続可能な社会の実現へ向けての課題は山積しています。

川島織物セルコングループは、京都議定書採択の地“京都”に本社を置く企業として、早くから環境対応を経営の重要課題と捉え、環境配慮型商品および環境配慮型技術の開発、ガス・電力使用の効率化、エコ電力の活用などの取り組みを推進してきましたが、地球規模での活動が求められている今、さらなる活動の強化が必須と考え、パリ協定に即した温室効果ガス排出削減の目標を設定しました。

### 2. 目標達成に向けたロードマップ

京都の本社に併設の工場（市原事業所）を中心に進めてきたエネルギー使用の効率化、省エネ設備使用などに加え、製品に用いる再生原料の使用率の拡大などの開発面での取り組み、生産・調達・販売などサプライチェーン全体における排出量削減活動（サプライヤーエンゲージメント）などを推し進め、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



本社 市原事業所（京都市左京区）

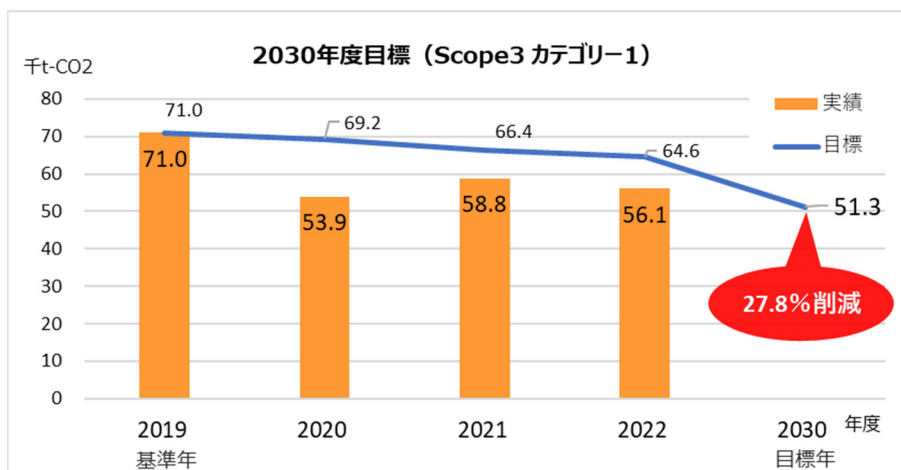
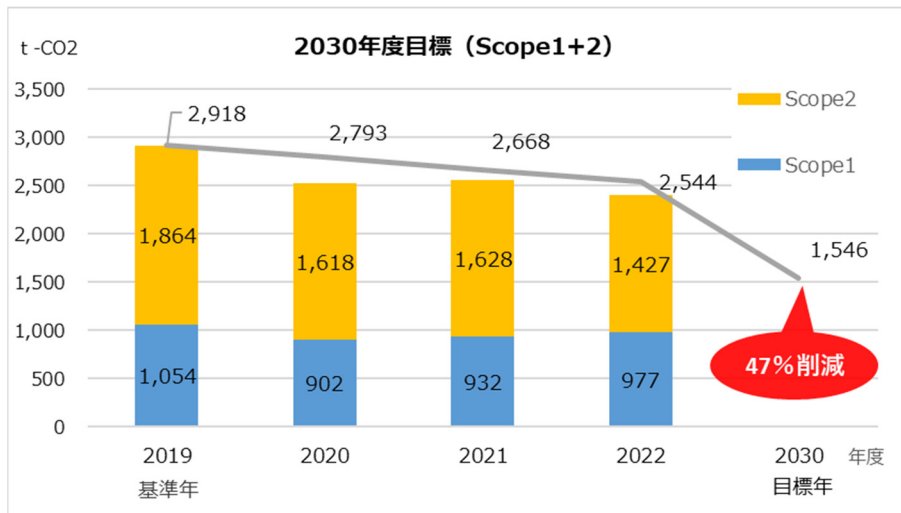
川島織物セルコンの環境活動は、オフィシャル Web サイトで公開しています。

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/company/csr/>

【参考資料】

■ CO2 排出量削減目標

Scope 1と2で2019年度比47%の削減、Scope 3カテゴリ1で27.8%の削減を目標に掲げています。



■ 温室効果ガス排出量の構成比

